

鋼に向かい、人と社会を豊かに。



富士テクノロジー株式会社牧之原工場が発信する新ブランド

「富士ステンレス鋳鋼」

弊社は、1985年からステンレス鋳鋼・炭素鋼の生産・販売を続け、長年培った独自の技術で鋳造技術を高め製品開発を続けています。

更にICT技術を取り入れた生産技術・品質管理のシステム化を進めることで、より高品質な製品の生産を実現し、お客様に満足いただける製品を送り出して参ります。

牧之原工場で生産されるステンレス鋳鋼品・炭素鋼鋳鋼品は世界各地のプラント・自動車に使用され、高い評価を得ています

※某一部上場重工業メーカー

月次パフォーマンス評価表【速報】2022年02月度

Monthly Score Card【Updates】Feb-22

(品質/納期管理の改善活動に参考指標としてご活用をお願い致します)(Please make use of this report for your performance improvement activities.)

(会社名) (Supplier Name) 富士テクノロジー(株)					(当月度評価) Rank Category of the Month			
(区 分) Category					品質評価	納期評価	総合評価	順位
拠点 Location	製品種別① Category①	製品種別② Category②	製品種別③ Category③	製品種別④ Category④	Quality Category	Delivery Category	Total Assessment	Ranking
国内 domestic	蒸気炉 Industrial Gas Turbine	購入品 Finished parts	N/A	N/A	RANK A	RANK A	Class Leading	1位 (25社中) (out of 25 suppliers)
品質評価 (Quality Scoring) 不適合件数: (購入品:RSI-TAG件数) (工程外注:I-TAG件数)								
当月 検査数量	当月 不適合数	当月 適合数	当月 適合率(%)	年間累計 不適合数	当月 不適合発生件数	当月 不適合発生率%	年間累計 不適合発生件数	
0	0	0	100%	0	0	0%	0	

ステンレス鋳鋼を静岡牧之原から世界へ



当社オリジナル材 [KIS109] を使った NISMO R34 GT-R搭載向け部品例

KIS109:
熱膨張を抑え、拘束された状態での繰返し使用に
強みを発揮します

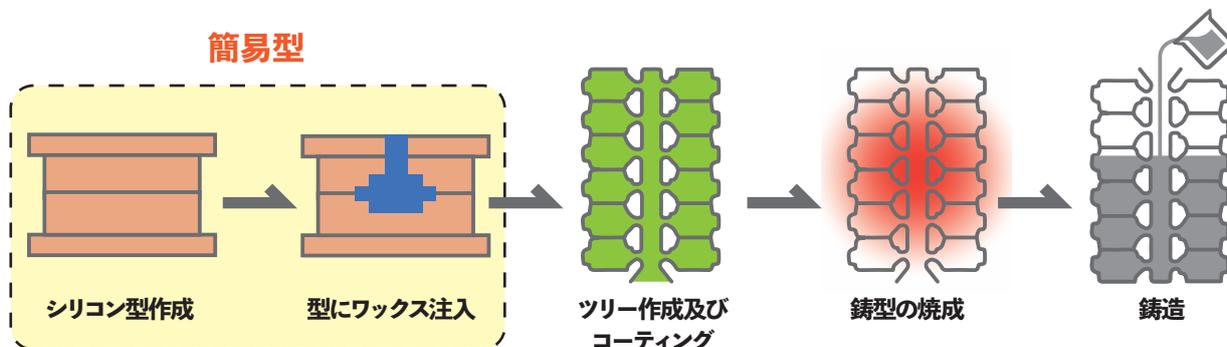
重量:6kg



砂型鑄造に加えて 新たに ”金型レス”ロストワックス工法を開始

従来のロストワックス工法では、大量ロット数の場合製品単価は安価になるものの”金型の製作”が必要な為、「初期費用が高額になる」「設計変更時には金型改造または新しく作成する」といったデメリットがありました。

『簡易型ロストワックス工法』では、シリコン製の型にワックスを注入し鑄型を作成することでより安価で迅速な鑄造を実現します。



簡易型ロストワックス工法の 【制作事例】

- ・ステンレス鑄造品
- ・炭素鋼鑄造品

